

れいわ ねんど  
令和5年度

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう  
—学校巡回公演事業—

みんぞくかぶだんあらうまざ  
〈民族歌舞団荒馬座〉

みんぞくげいのうしゅう はや はや げいのうひろば こうえん  
〈民族芸能集『囃し囃され芸能広場』公演〉



がっこうじゅんかいこうえんじぎょう  
—学校巡回公演事業—

しょうがっこう ちゅうがっこうとう ぶんかげいじゅつだんたい じつえんげいじゅつ じゅんかいこうえん  
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、  
こども しつ たか ぶんかげいじゅつ かんしょうたいけん きかい かくほ こども ゆた  
子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊か  
そうぞうりよく そうぞうりよく しこうりよく のうりよく やしな  
な創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、  
しょうらいげいじゅつか かんきゃくそういくせい すぐ ぶんかげいじゅつ そうぞう し もくてき  
将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

こども じつえんしどう かんしょうしどう  
ワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。

じつえん こども さんか くふう  
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



文化庁

舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人 日本芸術文化振興会



【プログラム】

- エイサー
- ししまい  
○獅子舞
- あらうまおど  
○荒馬踊り
- はながさ  
○花笠おどり
- かさおど  
○傘踊り
- とらまい  
○虎舞
- ふし  
○ソーラン節
- あ たいこ  
○ぶち合わせ太鼓

みんぞくかぶだんあらうまざ ねん どうきょういたばし そうせつ にほん たいこ おどり うた みんぞく  
民族歌舞団荒馬座は、1966年に東京板橋に創設されました。日本の太鼓や踊り・唄といった民族  
げいのう もと ぶたい つく しゅとけん ちゅうしん こうえん ぶろ げきだん まつ みんぞくぎょうじ  
芸能を基に舞台を創り、首都圏を中心に公演をしているプロの劇団です。お祭りや民俗行事の  
なか つた たいこ はやし おど うた ひとびと こんなん の こ ちから あす い ちから  
中で伝えられてきた太鼓やお囃子、踊り、唄には、人々が困難を乗り越える力、明日を生きる力、  
きょうどう い ちえ よろこ あらうまざ たいこ おど みりよく いま い  
協働して生きる知恵や喜びがあふれています。荒馬座はそんな太鼓や踊りの魅力を、今を生きる  
みな つた おもい こ こうえんかつどう ひろ  
皆さんに伝えたいという思いを込めて公演活動を広げています。  
たいこ みんぶ ふきゅう がっこう ほいくえん ようちえん せんせい たいしょう こうしゅうかい ねん  
太鼓や民舞を普及するために、学校や保育園・幼稚園の先生などを対象とした講習会も40年  
いじょう つづ がっこう かんしょうかい でんとうぶんかたいけん  
以上にわたって続けています。学校での鑑賞会や伝統文化体験ワークショップなどもさまざまな  
プログラムをようい あす せだい にほん でんとうぶんか かんしょう たいけん ひろ  
プログラムを用意して、明日をつくる世代に日本の伝統文化の鑑賞・体験を広げています。



民族歌舞団

荒馬座

〒174-0053 東京都板橋区清水町81-4  
TEL.03-3962-5942 FAX.03-3962-5021

E-mail [arauma@araumaza.co.jp](mailto:arauma@araumaza.co.jp)  
URL <http://www.araumaza.co.jp/>



### エイサー

沖縄で旧盆の時期に祖先への感謝として踊られます。

青年会の若者たちが、うた・三さん線しんに合せて唄い囃し太鼓を打ち鳴らして踊ります。

「道しゅねー」と呼ばれる村回りで、青年たちは夜通しエイサーを踊り町は熱気であふれます。

### 獅子舞

獅子は「家内安全」「商売繁盛」「天下太平」「厄除厄払」といった人々の願いを込め、昔から日本各地でさまざまな形で踊られてきました。今回は江戸の「寿獅子」を粋な江戸囃子にのって、小気味よく頭を操り、いなせに舞います。



### 荒馬踊り

稲の害虫を祓い豊作を願う「虫送り」という行事から生まれた踊りです。

農作業で人々とともに働く馬への感謝と愛情を込めて、ハネトと馬がヘアになって踊ります。「ラッセーララッセーラー」のかけ声で、舞台狭しと元気に跳ねて踊ります。



### 花笠おどり

米作りには欠かせないのは水。水をためるため池や灌漑用水作りの「土搦ぎ」作業の振りなどからこの「花笠おどり」が生まれました。

秋に稲が豊かに稔りますようにと願いを込めて、山形の民謡「花笠音頭」にのって、大きな花笠を回してにぎやかに勢いよく踊ります。

観客の代表の方々に太鼓の伴奏で加わってもらい、にぎやかに囃します。



### ぶち合わせ太鼓

大漁を願って叩かれてきた漁師の太鼓です。

浜の大漁のにぎわいを表すように、三人で代わる代わる力強く打ち込む大太鼓と軽快な小太鼓が囃し合います。

気づぶのよい漁師たちが競い合いながらも力を合わせる喜びにあふれています。



### 傘踊り

雨が降らず日照りが続いた折りに、傘を振って踊り雨乞いをしたところ、雨が降ったという鳥取地方(因幡の国)の昔話から、雨乞いと豊作を願うこの「傘踊り」が生まれました。

鳥取の民謡「貝殻節」「賀露節」にのって、色とりどりのきらびやかな傘を振り、たくさん付いた鈴をシャンシャンと鳴らしながら、凍々しく踊る雨乞いの踊りです。



### 虎舞



虎は「一日に千里行って千里帰る。」と言われ、漁の航海安全の神様として、主に東北地方の三陸海岸沿岸の漁師町を中心に踊り伝えられてきました。遊び虎「笹喰み」「跳ね虎」とそれぞれの踊りが虎のさまを表しています。「ヨイイサ ヨイイサ」と威勢のいいかけ声とにぎやかな手平鉦、小気味よく力強い太鼓と太い笛のお囃子にのせて、キレよく舞う虎の動きは、荒海に乗り出す漁師気質そのものです。

### ソーラン節

北海道でニシン漁の作業唄として歌われてきた「沖揚げ音頭」の一つの「ソーラン節」にのせて、舟をこぐ様子や漁の作業の様子などを表した踊りです。

大漁を願い、力と心を合わせて働く喜びと大漁のにぎわいを、明るく力強く、唄い踊り囃します。

※子どもたちの太鼓の伴奏で児童生徒の代表に太鼓を叩いてもらって踊ります。客席からは手拍子でにぎやかに囃してもらいます。

囃し囃し  
まっりの舞台！

